



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 デサント

コード番号 8114 URL <http://www.descente.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 悦朗

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役スタッフ部門長 (氏名) 石本 雅敏

TEL 06-6774-0362

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	60,637	8.0	3,480	35.4	3,542	31.5	2,330	26.6
23年3月期第3四半期	56,159	0.5	2,569	16.9	2,694	13.1	1,840	20.8

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,574百万円 (19.5%) 23年3月期第3四半期 1,317百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	30.92	—
23年3月期第3四半期	24.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	67,716	42,619	62.9
23年3月期	64,056	41,573	64.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 42,619百万円 23年3月期 41,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	8.2	4,500	16.6	4,500	12.2	2,700	4.7	35.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	76,924,176 株	23年3月期	76,924,176 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,568,082 株	23年3月期	1,564,384 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	75,358,163 株	23年3月期3Q	75,377,936 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
(2) 海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の海外経済は、拡大する欧州の債務・金融問題により減速傾向となり、下振れ懸念が見られる状況であります。また、わが国経済は、東日本大震災の影響による景気の低迷から緩やかに持ち直す兆しが見られたものの、欧州の財政不安による株価の低迷や急激な円高により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当スポーツ業界におきましては、東日本大震災後のスポーツ自粛ムードが和らぎ、継続したランニングブームや「FIFA女子ワールドカップドイツ2011」大会で日本代表が優勝するなど、スポーツに注目が集まりましたが、秋口の残暑ならびに暖冬の影響を受け市場は全体的に低調に推移しました。

このような状況の中、当社グループは今期を2年目とする中期3ヶ年経営計画「Compass2010」の達成に向けて、当期も引き続き各種政策を推し進めております。

ブランドマーケティングでは、ゴルフ事業領域におきまして「カルバン・クライン ゴルフ」をこの秋冬シーズンから展開するとともに、アウトドア事業領域におきまして「デサント」ブランドのアウトドアコレクションとして「デュアリス」を新規展開しました。

販売活動では、国内での海外担当部署の組織を再編成するとともに、各流通政策に基づいて収益構造の改善を図りました。海外におきましては、台湾の満心企業股份有限公司に資本参加し、今後、台湾ビジネスの強化を図ってまいります。また、シンガポールデサント株式会社において、東南アジアでの新たなビジネスを展開するとともに、韓国および中国におきましても、引き続き各ブランドの積極的な店舗展開を実施しております。

広告・販促活動では、国内におきましては、「アリーナ」ブランドで、「第30回オリンピック競技大会(2012/ロンドン)」に向けた新コンセプトの競泳用水着を開発し、国際水泳連盟(FINA)の承認を受けました。9月には、恒例の女子プロゴルフトーナメント「第42回マンシングウェアレディース東海クラシック」を開催致しました。海外におきましても、韓国での男子プロゴルフトーナメント「マンシングウェアチャンピオンシップ」の開催等、韓国・中国・香港をはじめ、展開各国で積極的なプロモーション活動を実施しております。

社会貢献活動では、子供たちにスポーツを楽しむ場としての「デサント・キッズスポーツ教室」を継続開催するとともに、新たに群馬県利根郡みなかみ町と当社の官民コラボレーション「みなかみデサントスポーツタウンプロジェクト」を立ち上げ、子供から大人までスポーツを楽しめる場を提供しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は60,637百万円(前年同四半期比8.0%増)、営業利益は3,480百万円(前年同四半期比35.4%増)、経常利益は3,542百万円(前年同四半期比31.5%増)、四半期純利益は2,330百万円(前年同四半期比26.6%増)となりました。

なお、4ページに記載の「会計方針の変更」のとおり、在外子会社等の収益及び費用の円貨への換算方法の変更により、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度について四半期連結財務諸表及び連結財務諸表への遡及適用を行っており、遡及処理後の数値で当四半期連結累計期間の比較・分析を行っております。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

アスレチック事業は堅調に、ゴルフ事業は前年並みに推移しましたが、アウトドア事業はブランド撤退により減収となりました。結果、売上高は42,455百万円(前年同四半期比0.1%減)、セグメント利益は2,043百万円(前年同四半期比7.8%増)となりました。

(アジア)

アスレチック事業は好調に推移し、ゴルフ事業は順調に推移しました。結果、売上高は17,323百万円(前年同四半期比35.7%増)、セグメント利益は1,252百万円(前年同四半期比80.7%増)となりました。

(北米)

北米ではスキーウェアを中心としたアウトドア事業を行っております。売上高は858百万円(前年同四半期比2.0%減)、セグメント利益は150百万円(前年同四半期比29.1%増)となりました。

取扱商品の品目別売上高の状況は次のとおりであります。

(アスレチックウェア及びその関連商品)

国内市場におきましては、サッカー競技者のみならず一般消費者の認知度が向上したことにより「アンブロ」が好調に、「デサント」は順調に、「ルコックスポルティフ」は引き続き堅調に推移しましたが、競泳用水着の販売不振により「アリーナ」が減収となりました。アジア市場におきましては、現地企画商品および日本企画との連動商品が功を奏し、「デサント」、「ルコックスポルティフ」が好調に推移しました。結果、売上高は33,423百万円（前年同四半期比16.1%増）となりました。

(ゴルフウェア及びその関連商品)

国内市場におきましては、ブランド認知向上により「ランバンスポール」、「カッターアンドバック」が好調に、「マンシングウェア」は堅調に推移しました。「ルコックスポルティフ」は前年並みに推移しました。アジア市場におきましては、アスレチックウェアと同様に現地企画商品が功を奏し、「ルコックスポルティフ」が好調に、「マンシングウェア」が順調に推移しました。結果、売上高はブランド撤退による売上減も含め、21,926百万円（前年同四半期比0.5%増）となりました。

(アウトドアウェア及びその関連商品)

国内市場におきましては、アウトドアブームを背景に、引き続き「マーモット」が好調に推移しましたが、欧米市場におきましては、スキーウェアの受注不振により、「デサント」が減収となりました。結果、売上高はブランド撤退による売上減も含め、5,287百万円（前年同四半期比5.0%減）となりました。

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は67,716百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,659百万円増加しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ3,207百万円増加し、51,454百万円となりました。これは受取手形及び売掛金の増加1,725百万円、商品及び製品の増加1,840百万円が主なものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ452百万円増加し、16,262百万円となりました。

負債合計は、25,097百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,614百万円増加しました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2,494百万円増加し、21,119百万円となりました。これは支払手形及び買掛金の増加2,363百万円が主なものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ119百万円増加し、3,978百万円となりました。

純資産合計は42,619百万円となりました。株主資本合計は45,273百万円となりました。その他の包括利益累計額合計は△2,654百万円となりました。

以上より、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.0%減の62.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く環境はさらに厳しい状況で推移するものと見込まれます。

このような状況のなかで、当社は引き続き企業体質の強化による収益力向上と企業価値の向上に努めてまいりたいと存じます。

連結業績予想につきましては、概ね予想の範囲内で推移しており、現時点においては、平成23年10月27日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社について、税金費用は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該連結子会社の法人税等は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

在外子会社等の収益及び費用は、従来、当該子会社等の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均為替相場により換算する方法に変更しております。この変更は、収益及び費用の換算について、在外子会社の重要性が増加する中、近年の著しい為替相場の変動により期末時点で受ける一時的な為替相場変動の影響を緩和し、より実態に応じた企業状況を表示するために行ったものであります。当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の売上高は378百万円、営業利益は84百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は32百万円それぞれ増加しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は176百万円増加しております。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,212	17,695
受取手形及び売掛金	15,745	17,470
商品及び製品	12,142	13,982
仕掛品	75	119
原材料及び貯蔵品	384	423
その他	1,726	1,807
貸倒引当金	△41	△45
流動資産合計	48,247	51,454
固定資産		
有形固定資産	9,249	9,547
無形固定資産	697	618
投資その他の資産		
その他	6,081	6,325
貸倒引当金	△219	△228
投資その他の資産合計	5,861	6,096
固定資産合計	15,809	16,262
資産合計	64,056	67,716
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,762	16,126
短期借入金	—	210
未払法人税等	731	720
賞与引当金	774	416
返品調整引当金	386	730
その他	2,969	2,915
流動負債合計	18,624	21,119
固定負債		
長期借入金	1,500	1,500
退職給付引当金	872	995
その他	1,486	1,482
固定負債合計	3,858	3,978
負債合計	22,483	25,097

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,846	3,846
資本剰余金	25,184	25,184
利益剰余金	15,099	16,901
自己株式	△657	△659
株主資本合計	43,472	45,273
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△369	△603
繰延ヘッジ損益	△2	△20
為替換算調整勘定	△1,525	△2,030
その他の包括利益累計額合計	△1,898	△2,654
純資産合計	41,573	42,619
負債純資産合計	64,056	67,716

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	56,159	60,637
売上原価	29,681	31,293
売上総利益	26,477	29,344
返品調整引当金繰入額	431	362
差引売上総利益	26,045	28,982
販売費及び一般管理費	23,476	25,501
営業利益	2,569	3,480
営業外収益		
受取利息	43	44
受取配当金	33	35
持分法による投資利益	54	55
その他	149	85
営業外収益合計	280	220
営業外費用		
支払利息	3	1
為替差損	92	96
その他	59	59
営業外費用合計	156	157
経常利益	2,694	3,542
特別利益		
固定資産売却益	4	—
負ののれん発生益	192	—
特別利益合計	196	—
特別損失		
本社移転費用	152	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	65	—
特別損失合計	217	—
税金等調整前四半期純利益	2,673	3,542
法人税、住民税及び事業税	1,148	1,383
法人税等調整額	△319	△170
法人税等合計	829	1,212
少数株主損益調整前四半期純利益	1,844	2,330
少数株主利益	4	—
四半期純利益	1,840	2,330

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,844	2,330
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△153	△234
繰延ヘッジ損益	5	△17
為替換算調整勘定	△366	△498
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	△6
その他の包括利益合計	△527	△755
四半期包括利益	1,317	1,574
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,312	1,574
少数株主に係る四半期包括利益	4	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,517	12,765	875	56,159	—	56,159
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,849	2	7	1,858	△1,858	—
計	44,366	12,768	882	58,017	△1,858	56,159
セグメント利益	1,894	692	116	2,704	△134	2,569

(注) 1 セグメント利益の調整額△134百万円には、セグメント間取引消去△27百万円、棚卸資産の調整額△106百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,455	17,323	858	60,637	—	60,637
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,582	30	—	1,612	△1,612	—
計	44,038	17,354	858	62,250	△1,612	60,637
セグメント利益	2,043	1,252	150	3,445	34	3,480

(注) 1 セグメント利益の調整額34百万円には、セグメント間取引消去△2百万円、棚卸資産の調整額36百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

(単位：百万円、%)

区分	前第3四半期連結累計期間 平成23年3月期第3四半期		当第3四半期連結累計期間 平成24年3月期第3四半期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
アスレチックウェア 及びその関連商品	28,789	51.3	33,423	55.1	4,634	16.1
ゴルフウェア 及びその関連商品	21,806	38.8	21,926	36.2	119	0.5
アウトドアウェア 及びその関連商品	5,563	9.9	5,287	8.7	△275	△5.0
計	56,159	100.0	60,637	100.0	4,478	8.0

(2) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位：百万円、%)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	13,639	889	1,402	15,931
II 連結売上高				56,159
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	24.3	1.6	2.5	28.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・・・・韓国、中国、香港等

②北 米・・・・・・米国、カナダ

③その他の地域・・・ロシア、スイス、スペイン等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

(単位：百万円、%)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	18,251	858	1,063	20,173
II 連結売上高				60,637
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	30.1	1.4	1.8	33.3

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・・・・韓国、中国、香港等

②北 米・・・・・・米国、カナダ

③その他の地域・・・スイス、スペイン、ロシア等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。